

厳しい残暑も何のその! 文化の秋、スポーツの秋ぞんじよ。



▲野菜の日・夏野菜カレー(8月31日)
▼あかねが丘学園・アンサンブル4の演奏(9月6日)



8月後半、大音量で演奏していた蝉バンドも少々ボリュームを控えてきたかなと感じる頃、うおずみでは書道の時間を持ちました。お題は「晴耕雨読」「秋刀魚」「なでしこ」など。お好きなものを選んで書いていただきました。

久しぶりに筆を持つ、あるいは文字を書くという方も多く、昔とった杵柄というにはやや勝手が違ったという声も。しかし、姿勢を正して書に集中するひとときが心地良かったようで、「楽しかった」といったお声もいただきました。

ご高齢の方は、お名前を自分流にアレンジして書く方も多く、本来平仮名のお名前なのに、書道では漢字で書いておられる等の場面を多くお見受けしました。

一方、デイサービスでは最近体を動かすゲームを再開しました。週に2度程は椅子等を移動して、ボーリング等にご参加いただき、エキサイティングなひとときをお過ごしいただいております。これぞ、うおずみでの「オリンピック」! 歓声があがるひとコマもあり、楽しい時間になりました。

厳しい残暑も、あと少し。脱水や熱中症対策を、最後まで気を抜かずに行って、充実した秋を迎えましょう。芸術の秋、スポーツの秋、恋する秋? 貴方の秋は、何色に染まるでしょう。



それぞれの戦記 (8月に想う)

夏休み自由研究 & 読書の秋

竹島だ尖閣諸島だともめ事の多い、昨今の外交事情ですが、そんな、未だ諸外国が持っているような侵略意欲が、かつて我が国をファシズムへと走らせたのでした。

敗戦して67年の間、毎年夏の甲子園では、終戦記念日の正午に黙祷を捧げ、原爆の日には記念式典が行われるなど、多くの尊い命を失ったことを、後世に伝え続けています。が、以前御国のために命を捧げて戦っていたことが嘘のように、この国は平和な空気に包まれています。そして、保身を優先するばかりの政治が、若者たちの無関心を煽り、もはや様々な平和の式典等が虚飾と化してはいまいか、という懸念を抱かざるを得ません。

戦時に生きた方が、当苑のような施設へ多数入居されている時代。戦争を知らない世代のみで構成される世が到来するのは、間近に迫っています。もっとその時代のことを知りたい、世界唯一の被爆国であることを決して忘れないという想いから、読書の秋に次の図書をお薦めしたいと思います。

「永遠の0 (ゼロ)」 百田尚樹 (講談社文庫)

「僕たちの戦争」 荻原浩 (双葉文庫)

前者の中で、戦後もうけた子の運動会に参加し、かつて戦地で戦った者同士が皆親として、穏やかに行事に興じていることを不思議に感じる...そんなワンシーンがあります。今の平和な生活は、彼らの大和魂の結晶。愛国心をもって、感慨がこみあげてくる作品です。



実りある秋にしよう!



謙虚な心を忘れずに



◆ ◇ 近日お目見え ◇ ◆

- 9/13 旬の魚(秋刀魚)
- 9/17 敬老の日・豪華彩りメニュー
(赤飯・天ぷら・茶碗蒸し)
- 9/25 ご当地メニュー・兵庫県！
(穴子天井)
- 9/30 月見メニュー



▲ゆず塩ラーメン(8月13日)

■ うおずみ初登場！ボルガライス(ご当地・福井県)

オムライスにトンカツを載せて、デミグラス・ソースで仕上げた、洋風絶品グルメなのです。その発祥は、福井県越前市の武生地区。地元では30年以上前から親しまれていますが、その名の由来や発案者などは伝えられていません。その後、同市内でボルガライスを提供している飲食店は増え続け、各々の店が独自の味を打ち出すようになり、食べ比べてこそ、その奥深さを感じることができるといわれています。福井を訪ねる際には、飲食店でボルガライスを注文して、うおずみの味と比べてみて下さい！



▲▼ご当地メニュー・福井県
ボルガライス(8月15日)

■ 真夏に、汗をかきかき…ゆず塩ラーメン

冷房のよく効いた部屋で、熱〜い麺を、ふうふう息をかけながらすする…いいですね。もちろん、食べ終わったらちゃんと冷房は元に戻しますよ！



◆◆塩ダレ
チキン丼
(8月21日)

■ この塩加減と温泉玉子がたまらない…塩ダレチキン丼

この美味しそうな食べ方からご想像下さい。滋養強壮にも、うおずみ！



スワッフ数珠つなぎ



合図のハコも聴かせてね！

7丁目 介護職員
50 瀧内 幸子

【生年月日】1973年10月11日 【出身地】明石市
 【血液型】A 【特技】カラオケ(バラード系)
 【趣味】バスケットボール、TVゲーム、音楽鑑賞(J-POP)
 【マイブーム】ガチャガチャ(ガチャポン)
 【長所】喧嘩してもすぐ謝ることができる
 【短所】説明下手、不器用 【尊敬する人】親友
 【座右の銘】人生に無駄な事などない。全て意味がある
 【一言】利用者様との関わりの中で、笑顔や感謝の言葉をいただくときやりがいを感じます。常に自己研磨し、利用者様の生活の質の向上につながるような援助・サービスができるように、頑張っていきたいと思います。

☆ 今後の予定 ☆

- 9月12(月) 《うおずみシネマクラブ》 13:30~(地)
- 9月13日(木) 《音楽療法・林先生》 13:45~(地)
- 9月19日(水) 《日本理美容福祉協会》 訪問理美容サービス
- 9月26日(水) 《喫茶ひまわり(3F)》 14:00~(地)
- 9月26日(水) 《音楽療法・林先生》 14:00~(デ)
- 9月27日(木) 《マンドリンクラブなでしこ》 演奏会 13:45~(地)
- 10月1日(月) 《青葉台うたうサークル》 13:45~(地)

今月の喫茶ひまわり



下の写真で、介助している男前は誰だ？

編集

納涼祭が終わってから、何名かのご家族より労いのお言葉を頂戴しました。毎年準備段階から全力をあげて取り組む、うおずみ最大のイベントゆえ、それらのお言葉は本当に有り難く、全ての苦勞が報われ、開催者冥利につきます。

そして、改めて言葉というもの大切さ・必要性を感じました。毎日接している人は、自分という者を分かってくれていると甘え、知らず知らずのうちに暗黙を求めがちになります。心はいつもさわやかな好青年に憧れ、照れずにさりと「ありがとう」や「ごめん」と言いたいと思っただけでも、なかなか上手くできません。そういう場面では、何故かボソボソと相手に伝わらないように話してしまいます。できる人には、そこに何の葛藤もないのでしょうか。自分の殻を破るのは、今。五穀豊穰、実りの秋にしたいものです。いざ、収穫の時！



後記



♪ダバダー
ゴールドブレイド
パート2

違いがわかる男の